

新機能紹介



文献検索ツール

リンクリゾルバ「SFX」を導入しました

「読みたい文献があるけど、どうすれば手に入るのか分からない。図書館にある？電子ジャーナル？文献複写って何？」

「CiNiiやGoogle Scholarで読みたい文献がヒットしたが、なぜか本文にアクセスできない」

レポートや卒論の参考文献を探している時に、こういった経験はないでしょうか？愛知大学では、多くのデータベースや電子ジャーナル、電子ブックを導入していますが、それらは個々に独立したサービスとして存在しており、探している文献がどのデータベースで検索できるかを理解しておく必要があります。しかし、それにはある程度のデータベースに関する知識が必要となってきます。また、Googleなどの検索サイトで文献情報がヒットしたとしても、契約していないなどの理由により、本文が閲覧できない場合もあります。

そんなときに役立つのが「リンクリゾルバ」というサービスです。「リンクリゾルバ」とは、データベース、電子ジャーナル(有料・無料)、電子ブック、OPACなどへのリンク情報を集約的に管理し、必要な文献をスムーズに入手できるように検索を支援するシステムです。リンクリゾルバにもいくつか種類がありますが、今回導入したのは「SFX」というシステムです。

それでは、SFXにアクセスしてみましょう


(SFXへのアクセス)

愛知大学図書館ホームページ 左下→「電子ジャーナル・データ」をクリック

URL : <http://sfx8.usaco.co.jp/aichi/az>

右図がSFXの**トップ画面**です(1)。この画面で雑誌名、分野、提供元などから資料を検索します。

トップ画面からタイトルを選択すると、右図の**「SFX中間窓」**(2)というページが表示されます。SFX中間窓では利用可能な全文ファイルの有無やCiNii Booksの検索結果などを一画面で確認でき、それぞれのリンクボタンも表示されます。

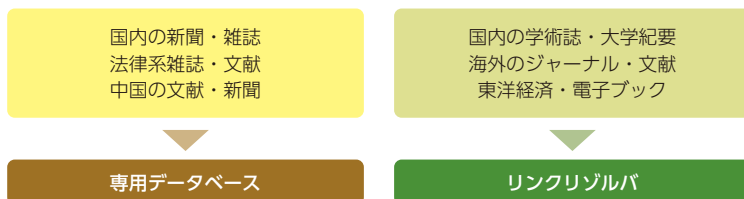
リンクリゾルバを導入するもう一つのメリットは、CiNii、ProQuest、EBSCOhost(3)、Google Scholarといったデータベースの検索結果に「」といったアイコンが表示され、それをクリックするとSFX中間窓にリンクし(2)、全文ファイルの有無や冊子体を持つ図書館を確認できることです(データベースで全文ファイルを開覧できる場合は、アイコンが表示されないことがあります)。

SFXではこんなことができます

- タイトルリストや分野などから利用できる全文ファイル(フルテキスト)があるか検索できます。
- 契約している電子ジャーナルだけでなく、無料の電子ジャーナルも検索します。
- 愛知大学の蔵書検索システム(OPAC)やCiNii Booksにリンクし、冊子体の有無を確認できます。
- 各種データベース(CiNii、ProQuest、EBSCOhost、Google Scholar)の検索結果にSFXのリンクアイコンが表示され、SFX中間窓に移行します。

(補足)

リンクリゾルバの導入によって資料の検索の幅は飛躍的に広がりますが、決して万能ではありません。まだまだ国内のデータベースでは検索対象外のものも多く、リンクリゾルバからは検索できないデータベースがあります。大まかに、以下のような考え方で使い分けていただくと良いと思います。



- ・ 新聞系データベース (日経テレコン 21 など)
- ・ 法律系データベース (LEX/DB など)
- ・ 中国学術雑誌データベース (CNKI)

リンクリゾルバ「SFX」

1 SFXトップ画面

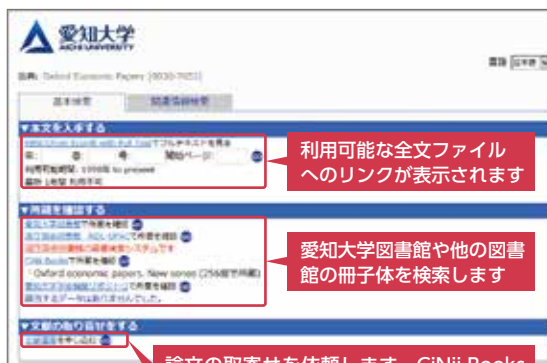
この画面で雑誌名、分野、提供元などから資料を検索します。



リンクリゾルバ「SFX」のトップ画面 (<http://sfx8.usaco.co.jp/aichi/az>)

2 SFX中間窓

この画面では「利用可能な全文ファイルの検索」、「図書館の冊子体の検索」、他大学から文献を取り寄せるためにCiNii Booksの検索結果が表示されます。



SFX中間窓

論文の取寄せを依頼します。CiNii Booksの検索結果が表示されますので、印刷して、図書館カウンターで手続きしてください。

3 EBSCOhostでの検索例

各種データベースの検索結果にSFXのリンクアイコンが表示され、SFX中間窓に移行します。



EBSCOhost検索画面

中間窓にリンク